

工事店様用

ZMPSC エコめがね

自家消費向け

自家消費モバイルパック

<パワコン接続タイプ>

[太陽光発電 遠隔モニタリングサービス]

パワーコンディショナ – SV センサ間 通信ケーブル加工マニュアル Huawei 製 パワーコンディショナ用 Ver1.1

SV センサ設定ツール 設定内容		
<pcs メーカ=""></pcs>	Huawei	
<pcs 型式=""></pcs>	「SUN2000-8-28KTL	_ (8/10/12/15/17/20/23/24.5/28)]
対象型式:		SUN2000-17KTL
SUN2000-8KTL		SUN2000-20KTL
SUN2000-10KTL		SUN2000-23KTL
SUN2000-12KTL		SUN2000-24.5KTL
SUN2000-15KTL		SUN2000-28KTL

《注意》

パワーコンディショナのファームウェアが「V100R001C81SPC109」以降のものであることを確認する必要があります。「V100R001C81SPC108」以前のファームウェアでは、自家消費モバイルパックをご利用いただけません。

^{※「}V100R001C81SPC108」以前のファームウェアの場合、アップグレードを行うことで 対応可能となります。アップグレード方法の詳細については、パワーコンディショナの製造元に お問い合わせください。

注意事項

パワーコンディショナについての詳細な手順は、パワーコンディショナ付属のメーカ取扱説明書、施工・保守マニュアルに従ってください。なお、改訂などによりメーカ取扱説明書、施工・保守マニュアルの内容に変更が生じた場合など、本マニュアルの内容と異なる場合は、パワーコンディショナメーカ側の内容に従って施工してください。

通信ケーブルは、施工者様の責任において作成くださいますようお願いいたします。

誤った方法で施工した場合に、モバイルパック、パワーコンディショナ、その他周辺機器の故障などの異常が生じましても、当社はいっさいの責任を負いかねます。

1.目的

エコめがね自家消費モバイルパック(以下 自家消費モバイルパック)をご利用いただくにあたって、「パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブル」を作成・施工いただく手順を記載しています。

2. ケーブルの作成

2-1.準備部材・工具

●部材 (パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブル 1 本あたり)

部材名	サイズ・規格	数量
屋外用シールドネットワークケーブル	カテゴリ 5 以上	1本
絶縁テープ		必要な
	-	長さ

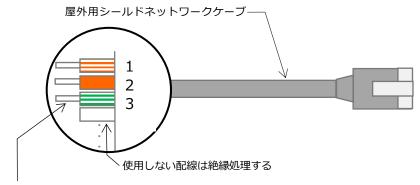
●工具

工具名	サイズ・規格	個数
ニッパー	-	1
精密ドライバー	マイナス、2.0 mm	1

2-2.パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブルの加工

●ケーブル加工方法

パワーコンディショナ - SVセンサ間の距離に応じた長さの屋外用シールドネットワークケーブルを用意し、片側のコネクタを切断し、「1. 白/橙」、「2. 橙」、「3. 白/緑」(配線色はBタイプ(T568B)のネットワークケーブルの場合)の3つの配線の被覆を8.0mm剥いてください。それ以外の配線は、ほかの配線や金属と接触しないよう絶縁処理をしてください。



自家消費モバイルパックのシリアル通信端子台側については8.0mm分被覆を剥いてください。

3. ケーブルの取付け方法

<注意>機器が運転停止している状態、すべての入力スイッチやブレー力が「OFF」になっている 状態で作業を開始してください。

手順 2-2 で加工したケーブルで、自家消費モバイルパックのシリアル通信端子台とパワーコンディショナの OUT ポートの間を接続してください。自家消費モバイルパックシリアル通信端子台の挿線口付近のツメ(橙色)を精密ドライバーで押しながら、挿線口に通信線を挿入してください。挿入後、精密ドライバーの押さえを開放しますと通信線が固定されます。通信線を軽く引いて、抜けが生じないか確認してください。

●ケーブル取付け全体図

自家消費モバイルパック パワーコンディショナ:1 パワーコンディショナ:2 パワーコンディショナ:n シリアル通信端子台 SVセンサー 00000000000 RS485 RS485 RS485 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 OUT ポート IN ポート OUTポート INポート OUTポート INポート パワコン間通信ケーブル ¹手順 2-2 で作成した通信ケーブル ※別途お客様にてご準備

●結線対応表

自家消費モバイルパック シリアル通信端子台		パワーコンディショナ RS485 OUTポート	
ピン番号	信号名	端子番号 [※]	信号名
7	TX+	1 (白/橙)	差動信号+
8	TX-	2 (橙)	差動信号 –
11	SG	3 (白/緑)	PGND

※配線色は B タイプの ネットワーク ケーブルを 使用した場合 です。

4. その他

4-1. パワーコンディショナのファームウェアバージョンの確認

パワーコンディショナに同梱されているユーザーマニュアルに従って、パワーコンディショナのファームウェアバージョンを確認してください。
ファームウェアのバージョンは、パワーコンディショナの LCD に表示されます。
自家消費モバイルパックが対応可能かどうかについては、パワーコンディショナのファームウェアバージョン(英数字)の"SPC"前の数字 2 桁と末尾数字 3 桁で確認することが出来ます。

V100R001C81SPC109

____ バージョン情報 2 → バージョン情報 1

バージョン情報 1 …数字 2 桁。ファームウェアにて大規模の更新がされると加算される。

バージョン情報 2 …数字 3 桁。ファームウェアにて小規模の更新がされると 加算される。また、バージョン 1 の数字が加算された場合は、 000 にリセットされる。

V100R001C81SPC109 以降の場合:

⇒自家消費モバイルパックで対応可能です。 そのまま「4-2.終端抵抗の設定」に進んでください。

V100R001C81SPC108 以前の場合:

⇒パワーコンディショナのファームウェアアップグレードが必要です。 アップグレードの方法については、パワーコンディショナの製造元にお問い合わせい ただき、最新のファームウェアにアップグレードしてください。 アップグレード後、「4-2.終端抵抗の設定」に進んでください。

例:

「V100R001C**81**SPC**112**」、「V100R001C**82**SPC**002**」 ⇒**対応可能** 「V100R001C**80**SPC**120**」、「V100R001C**81**SPC**108**」 ⇒アップグレードが必要

4-2. 終端抵抗の設定

接続パターンにより、SVセンサの終端抵抗及び、パワーコンディショナの整合抵抗を設定してください。

<注意> 出荷状態では、SVセンサの終端抵抗はON状態で設定されています。 パターンAでご使用される場合は、SVセンサの終端抵抗の設定は不要です。

【パターンA(推奨)】自家消費モバイルパックが通信経路上の終端に設置されている場合

・自家消費モバイルパック:

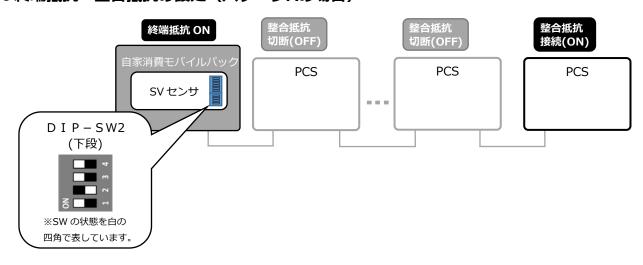
SV センサの終端抵抗設定を有効(DIP-SW2 No.1をON)に設定してください。

・パワーコンディショナ:

通信線上の終端にある 1 台のパワーコンディショナの整合抵抗を「接続」(ON)に設定してください。それ以外のパワーコンディショナの整合抵抗は、「切断」(OFF)に設定してください。

具体的な整合抵抗の設定方法については、パワーコンディショナのユーザーマニュアルを 参照してください。

●終端抵抗・整合抵抗の設定(パターンAの場合)



【パターンB】自家消費モバイルパックが通信経路上の終端に設置されていない場合

・自家消費モバイルパック:

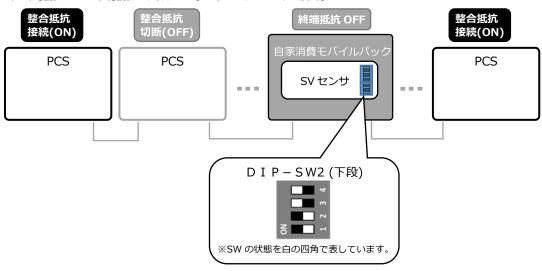
SV センサの終端抵抗設定を無効(DIP-SW2 No.1 を OFF)に設定してください。

・パワーコンディショナ:

通信線上の終端にある 2 台のパワーコンディショナの整合抵抗を「接続」(ON)に設定してください。それ以外のパワーコンディショナの整合抵抗は、「切断」(OFF)に設定してください。

具体的な設定方法については、パワーコンディショナのユーザーマニュアルを参照してください。

●終端抵抗・整合抵抗の設定(パターン B の場合)



4-3.アドレス(局番)の設定

パワーコンディショナのユーザーマニュアルに従い、パワーコンディショナのアドレス(局番)を 1~9の範囲で設定してください。

MEMO

販売元



NTT SMILE ENERGY

株式会社 NTT スマイルエナジー

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜2丁目6番18号 淀屋橋スクエア4F 06-6221-1234

お問い合わせ support@nttse.com

エコめがね サービス ヘルプデスク

050-3185-6842

10:00 ~ 17:30

※年末年始・夏季休暇等の当社指定休日は除きます。